

研究支援者派遣の見積競争について

次のとおり見積競争に付します。

契約担当職
国立研究開発法人産業技術総合研究所 北海道センター
業務室長 谷本 裕司

1. 見積競争に付する事項

- (1) 件名・人数 研究支援者派遣（北海道24派040） 1名
- (2) 仕様 別紙仕様書のとおり
- (3) 派遣期間 2025年2月1日～2025年3月31日
- (4) 派遣場所 国立研究開発法人産業技術総合研究所
北海道センター

※ 派遣元で派遣労働者の待遇を「派遣先均等・均衡方式」、「労使協定方式」のどちらで確保したのか、競争参加を決めた時点で下記5. に連絡ください。

2. 競争参加に必要な書類

- (1) 見積書 1部
 - ・ 時間単価（通常時間単価、法定外時間単価）を記載してください。
 - ・ 見積額は通勤交通費等の諸経費を含めた額としてください。
- (2) スキルシート 1部
仕様書「派遣職員に求める資格・技能等」に示す能力（スキル）に係るスキルシートをご提出ください。
- (3) 労働者派遣事業許可証の写し 1部
- (4) 反社会的勢力排除に関する誓約書
詳細及び様式は以下URLをご覧ください。
URL：https://www.aist.go.jp/aist_j/procure/oshirase/seiyakushoirai.html
※ 過去に産総研に提出したことがある場合は不要です。
- (5) 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」
詳細及び様式は以下URLをご覧ください。
URL：https://www.aist.go.jp/aist_j/procure/oshirase/koutekikenkyuuhi.html
※ 過去に産総研に提出したことがある場合は不要です。

3. 競争参加に必要な書類の提出期限及び提出場所

2025年1月9日（木）17：00 厳守
下記5. にご提出ください。（メール提出可）

4. 注意事項

- (1) 国立研究開発法人産業技術総合研究所を離職後1年以内の者でないこと（60歳以上の定年退職者を除く）。
- (2) 競争参加にあたっては、予め契約書案をご承諾ください。（契約書案は以下URLからご覧ください。）

URL：https://www.aist.go.jp/aist_j/procure/format/

5. 書類提出先・問い合わせ先

国立研究開発法人産業技術総合研究所

北海道センター 北海道センター業務室 木瀬 達人 (きせ たつと)

0

住 所：〒062-8517 北海道札幌市豊平区月寒東2条17-2-1

電 話：050-3522-9012 (直通)、011-857-8400 (代表)

メール：t. k i s e @ a i s t . g o . j p

仕様書

件名	研究支援者派遣（北海道24派040）
組織単位（組織の名称）	生物プロセス研究部門
組織の長の職名	研究部門長
事業所の名称	国立研究開発法人産業技術総合研究所 北海道センター
事業所の所在地	札幌市豊平区月寒東2条17-2-1
派遣職員の人数	1名
派遣期間	2025年2月1日 ～ 2025年3月31日
就業日	就業曜日「月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日」 休日「土曜日、日曜日、祝日、産総研指定休業日」 その他、国立研究開発法人産業技術総合研究所職員就業規則による。
就業時間	8時45分を始業時刻、16時0分を終業時刻とし、途中1時間（12時～13時）の休憩時間を除き、1日あたり6時間15分勤務とする。
延長就業等	必要に応じ、上記の就業日及び就業時間以外に就業を命じる場合がある。
出張等	必要に応じ、命じる場合がある。（派遣先職員同伴）
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発」に係る研究補助業務（植物の栽培・微生物の培養、タンパク質、RNA、DNA解析、データ解析など）。 ・付随的業務は、1割以内とする。
政令で定める業務（号）	派遣期間31日以上のため省略
責任の程度 （権限の範囲）	役職を有さない（部下なし）
危険有害業務の有無 （危険有害業務の内容、危険・健康障害を防止する措置の内容）	なし
派遣職員に求める資格・技能等	<ul style="list-style-type: none"> ・理系修士課程卒以上の学歴を有し、バイオテクノロジー系の研究経験・知識を有すること。 ・1年以内に大学、公的機関、民間企業等でバイオテクノロジー系の実務経験を有すること。 ・組換えDNA実験の従事者登録歴があり、遺伝子工学を用いたPCR解析、DNA精製、RNA精製、サザンブロッティング、ノーザンブロッティングの実験スキルに精通していること。 ・タンパク質の分析等の実務経験を1年以上有すること。 ・植物体の育成および水耕栽培管理の実務経験を1年以上有すること。 ・微生物培養（無菌操作）の実務経験を1年以上有すること。 ・Word、Excel、およびPowerPoint等を使用して、実験結果の収集、整理、報告書作成が可能なこと。 ・英語の実験手順書を使用する際、必要に応じGoogle翻訳等を利用して自立的に内容を理解できること